

議長(三宅耕三君) 次に、5番 南部武司議員。

(5番 南部武司君 登壇)

5番(南部武司君) この6月定例議会では人口増加に向けた取り組み、中学生海外派遣事業について、携帯電話やインターネットなどの犯罪防止の取り組みの三つの質問を通告いたしました。

5月14日と15日の両日、地方自治経営学会が主催する研究大会に参加してきました。全体テーマを地方自治の行方、特に財政問題、人口減少社会、団塊世代問題と今必要とされるテーマばかりでした。また大会ではふるさと納税についても多くの意見が出ていました。野呂三重県知事は不要と言っていましたが、まず町長に、「ふるさと納税」の考え方を伺いたしたいと思います。

長野県下条村という村をご存じでしょうか、この村の村長も講師として講演をしていました。

出生率が減少している中、特殊出生率が1.8から2.12にまで増加したそうです。人口も3,800から4,221人に増加です。飯田市の隣の小さな村が何もせず人口増加をしたわけではありません。講じた対策の一例を述べますと、若い夫婦を対象とした村官住宅を建設し、格安な家賃設定での入居募集や、中学生までの医療費無料化などです。

人口増加を重要課題としている東員町では、具体的にどのような政策を取り、将来の東員町を計画しているのか、2期目となった町長にその考えを伺いたしたいと思います。

人口増加には欠かせない住宅地の開発、国からも土地区画整理事業調査として予算化されている東員中央地区の現在の進捗状況と、その後の計画を伺いたしたいと思います。また町内で市街化調整区域から市街化を予定しているほかの区域についても具体的な計画案、もしくは現在の進捗状況はどうなっているのでしょうか。

次に、桑名広域のRDF施設付近に工場進出の話があります。桑名地内ですので、知っていなければ結構ですが、わかっている範囲伺いたしたいと思います。

デンソーやトヨタには多くの従業員がいます。それらの工場へ出向き、東員町の都市計画事業を説明し、社員用社宅や住宅の建設用地としての売り込みは必要だと考えますが、営業を行ったことはあるのでしょうか。もしやっていなければ提言したいと思いますが、その考えはあるのでしょうか、伺いたしたいと思います。

また、人口増加につながると思われる最近の動きや企業の動きなど、特筆できるものがあれば、あわせて教えて下さいますようお願いいたします。

以上、町長の答弁をお願いいたします。

議長(三宅耕三君) 佐藤均町長。

(町長 佐藤 均君 登壇)

町長(佐藤 均君) 南部議員の人口増加に向けた取り組みについてのご質問に、お答えを申し上げます。

まず、一点目の国のほうで現在検討されております住民税の一部を生まれ故郷などの自治体に納める「ふるさと納税構想」についてのお尋ねでございますが、新聞報道によりますと、全国の知事にアンケート調査を行った結果、地方の県では税収の地域間格差の解消につながることから賛成する意見が多く、一方、税収の減が予想されます都市部の県などが反対をされており、いまだ態度を明確にしておられない県もいくつかあるようでございます。

そのような中、三重県知事は税の本質的な議論を取ってしまって評価できないと否定的な見解を示しておられます。東員町はご承知のように笹尾、城山地区を中心に転入者の方の占める割合が高い町であります。現役世代の方が住民税を生まれ故郷のふるさとに納められることも十分に予想され、当然税収も減ってまいります。逆に結婚や就職を機に転出される若い世代の子どもたちもたくさんおみえになりますので、将来的にみれば税収が増える可能性もございます。しかし「ふるさと納税」は本人の意思により、納税先を選択できるようでありますので、自治体間で税の奪い合いになる恐れがあることや、毎年の税収が安定しないことから、財政計画が立てづらい面もございます。また受益者負担の問題もあり、あまり馴染まないような気がいたしますことから、私は「ふるさと納税構想」よりも、長期的に安定した税収の確保を図る観点から、その前に消費税を含めた国と地方との税源割合の見直し、地方への税源移譲をより一層進めることが急務ではないかと考えるところでございます。

次に、町の人口増加の政策についてでございますが、本町が持続的な発展を続けていくには、人口の増が重要な課題であると認識し、昨年より定住促進奨励制度を創設し、現在ある市街地の未利用地における住宅建設及び利用促進を図っているところでございます。しかしながら、ミニ開発での人口増加には限りがあることから、新たな開発による住宅用地の確保が必要不可欠と考えます。都市マスタープランでも位置づけておりますように、候補地として考えるのは東員駅北側の一帯地区、穴太駅周辺地区、長深の町営住宅東側であり、工場地としては城山の東側山林地域、商業系流通施設については長深地内の東海環状自動車道インターチェンジ建設予定地周辺でございます。ご承知のとおり、都市計画法で規制のかかる土地でございますので、法的な手続きを経る必要がございますが、一生懸命取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご協力を賜りたいと存じます。

また、土地区画整理事業調査として取り組んでおります東員駅北側の東員中央地区での事業進捗でございますが、平成 18 年度において地権者などの意識調査、現況測量、検討会委員による先進地の見学等を行ったところでございます。今年度は

地権者全員の方に事業に対するご理解をいただけるよう説明会を開催させていただきますし、それにあわせ基本計画の作成にも着手したいと考えております。

次に、RDF施設付近の桑名市における開発計画でございますが、当地区は以前より区画整理の手法により、工業団地の計画がされていたものであり、現在はその地区の拡大により事業の見直しも含め考えておられると伺っております。

また、企業の社員用住宅などの誘致に関しましては、まず受皿となる条件整備や土地基盤の整備を確実なものにする必要がございます。企業側の候補地の条件や法規制などのバリアーなどもございますが、私自身も積極的に誘致したいと思しますので、これからも努力をしてみたいと考えております。

次に人口増、企業の動きで特筆したものがあればということでございますけども、六把野新田の大日コンクリート南側の土地で、扶桑工機株式会社の東員第二工場の建設が計画をされ、間もなく着手されるところでございます。よろしくご理解のほどお願いを申し上げます。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 東員町の役場のホームページに都市再生整備計画の作成についてという、比較的新しいところがあります。そこに出ている図面は東員駅周辺地区、今はすべて駅北と言ってみえましたが、役場も含め山田地区をずっと囲んでございます。その違いちょっと詳しく教えてください。

議長(三宅耕三君) 佐藤均町長。

町長(佐藤 均君) お答えをさせていただきます。

実はその当初の計画はですね、東員駅を中心にしてですね、西側は戸上川、それから東側は神田農協から六把野駅へ行く道のあの道から西、それから旧員弁街道ですね、北は、そして戸上川ですので、ずっとこう細くなってきますけど、その間をですね区画整理ということで、県のほうへ上げさせていただいております。ところがいろいろ詰めていく段階で、それはとてもこんだけの大きな面積はできないということで、それで全体を見ますと100町歩ぐらいあるんです。そんな面積を市街化区域にはできないということで、現在では東員駅から北だけの30町歩、30ha、その部分を今現在ですね、県と地権者と地域と議論をさせていただいておる段階でございますので、よろしくお願いをしたいと思います。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) ちょっと先程の町長の答弁聞き漏らしたかどうかわかりませんでしたけど、近くにありますがトヨタとかデンソーなんかの従業員を、東員町内に誘致するための住宅予定として現在計画している部分、希望する面積があれば、これだけやるから何とかして東員町もやりたからという営業はやってますかどうかですか、お願いします。

議長(三宅耕三君) 佐藤均町長。

町長(佐藤 均君) お答えをさせていただきます。

営業等はですね、と言うよりか受皿というのですか、こちらのほうとして仮に、そして東員町へと言われたらときに、どこで受けるということが今のところではなかなか難しい。要するに今では市街化区域の中でございます。調整区域ではできません。そんなことを考えていきますとですね、しかも調整区域、市街化区域であってもですね、地主さんの意向もございまして、そう簡単にですね、向こうはそしたら出ましようかと言われたときにどこで受けていく、その受皿づくりをきちっとしておかないと、お願いにもできないということですね、そこら辺をですね、行政がその受皿をつくっていくということが、非常になかなか東員町の場合はまだ進んでない。

今度その東員駅の30町歩がですね、仮に地主の皆さんと合意に達すれば、そこが当然受皿になっていくと思いますので、その辺をひとつご理解をいただきたいと思えます。是非そんな方向でですね、市街化区域の拡大をしたいと、もうこれからは開発で行うことはできませんので、都市計画法の法に則って進めさせてもらうということでございますので、どうぞご理解をいただきたいと思えます。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 先ほどの質問の中で、長野県の下条村をチラッと言いましたけど、その村営住宅はグレードを最高級のものにして、入居者のニーズを追求したとのことで、完成前から予約でいっぱいということです。東員町でつくろうとされる。あるいは鳥取なんかでも多く今開発されていますけど、あれを区画整理でやっていただいたらもっと良かったかなという気もしますが、住宅地でも緑を多く取り入れ環境を良くすれば、若干高額であっても売れる時代だと思います。どうせなら中途半端な開発はやめて最高のもの、できれば電線などは地下ケーブルとか、そういうことまで考えてほ

しいと思いますけど、まだちょっと今の段階では無理かもわかりませんが、その考えを伺いたいと思います。

議長(三宅耕三君) 佐藤均町長。

町長(佐藤 均君) お答えをさせていただきます。

町営住宅とかですね、今までの町営でやってきたんですけども、あの大きなところでですね。基本的には東員町の場合は恵まれておりますので、町がやるんではなしに民間の力を借りようと、本来であればあそこにですね、高齢者の皆さんの住宅とか、そういうことも考えられるんです。

やはり今の高齢者の方は非常に便利なところを求められてみえます。桑名の駅前の昔のパルのマンションですか、下へ行けば買い物もできる、それから市役所の施設もある。そんなことですね、東員町の高齢者の方もそちらのほうへということも聞いております。

そういうことでございますけども、当然そうすれば東員町で高齢者の方の住宅政策ということも考えられるんですけど、基本的には民間でできることは民間にしておこうというのが、私は基本でございますので、その住宅政策は取らないということでございますので、これも、それはあかんということであれば、また議論させていただきますけど、民間でできることは民間にさせていただいて、東員町の財政を少しでも助けていくという考えでおりますので、その辺もひとつご理解をいただきたいと、受皿は行政がせなできんと思いますので、それは一生懸命させてもらいたいと思います。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 2問目にいきます。

本年度も9月末から10月初めに、中学生海外派遣事業が行われます。私は中学生が海外を体験できる素晴らしい事業だと思いますし、反対するわけでもありません。また昨年の海外派遣事業の報告書も読み、日本との違いを肌で感じてきたことを今後に役立てていただきたいと思っています。しかし、いつも言っていますが、引率の先生以外の同行はやめ、もっと多くの生徒にこの体験ができる機会を与えてあげれば良いという考えは変わっておりません。

この事業については一般質問で何度も行っておりますが、1日短くなった本年度の計画、内容、予算を教えてください。また日程や予算、宿泊先は誰がどのような根拠で計画、算定しているのでしょうか。

ホームステイ先であるシェルナッハと東員町が直接交渉を行い、日程など調整しているものだと思っておりましたが、旅行業者がすべて行っていると知りました、本当でしょうか。

昨年度まではすべて同じ旅行者が携わっていました。本年度はどうなったのでしょうか。また入札など行われたのでしょうか。本年度の事業委託業者はどうなっているのかも、あわせて伺いたいと思います。

以上、教育長に答弁を求めます。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

(教育長 石垣征生君 登壇)

教育長(石垣征生君) 南部議員の中学生海外派遣事業についてのご質問に、お答えをいたします。

この事業は平成13年度から開始し、例年現地での環境学習、平和学習、ホームステイ先や現地の中学生との交流事業を実施いたしておりまして、過去6回実施をさせていただいております。まず日程につきましては、事業の開始当初に訪問先の教育計画と調整するとともに、本町の学校との協議も行い、最も授業に支障を来さない期間とし、出発は9月の最終水曜日を基本といたしておりまして、本年度は為替レートの高騰も勘案し、9月26日から10月2日までの7日間とさせていただいております。

予算的には、予算編成時に参考見積りを聴取し、財政当局と協議のうえ協議をさせていただいております。

派遣先のシェルナッハとの日程調整につきましては、例年9月の最終水曜日に東員町を出発し、現地には木曜日に入り歓迎式典、金曜日に地元の中学生との交流、環境学習を実施することとしております。したがって、旅行社には行程等による若干の細かい部分の調整をお願いをしております。

請負業者につきましては、前年度までは実行委員会が過去の実績を評価し、1社による随意契約といたしておりましたが、本年度からは契約手法の改善を図るため、町の契約業務にならい5社による見積聴取を実施いただきました。その結果、前年度まで契約しておりました業者が落札されましたのでご報告申し上げます。

今後もより一層契約手法の改善を図るとともに、事業内容につきましては、生徒たちの健康や体力的なことも踏まえた実績をもとに、安全で有意義な事業実施に努めてまいります。よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 入札は総務の政策推進課ですので、総務部長に伺います。

東員町が指名している旅行業者教えてください。

それと、それらの業者に今回見積を依頼しましたが、中学生海外派遣事業の内容及び発注日付を教えてください。以上、お願いします。

議長(三宅耕三君) 近藤洋総務部長。

総務部長(近藤 洋君) お答えをさせていただきます。

確かに指名審査会関係につきましては、政策推進課で実施いたしておるところでございます。

ただ、その事業事業によりましては、原課のほうからの業者選択希望という、そういう形もございますので、そういった点で、そういう面を重要視する場合もございますので、ご理解をいただきたいと思えます。

それから、ちょっと突然なことがございますので、その詳細につきましては資料を持っておりませんので、必要とあらば、あとからお示しをさせていただきますので、どうかよろしく願いを申し上げます。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 総務部長には迷惑をかけました。実は5月1日付けで、見積通知書というのを今言われました5社に発送しております。そのコピー持っております、私。ですから知っていて聞いたわけでございますけど、なぜ政策推進課を通さずに教育委員会が直接やったのかがわからなくて、今お聞きした次第でございます。

その見積通知書の中に、すでにもう全部行程から全部入っておりましたが、気になった点をお伺いします。引率者が4名となっております。東員町の前回の回答では安全のため5人は絶対必要であるという答弁をいただきましたが、なぜ今回4名になったのでしょうか、私どもが1人減らせ2人減らせと言うた意見が反映されたのでしょうか、その点を伺いたいと思えます。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 今回はですね、いろいろ7回目になるわけでごさいます、過去の事柄等を勘案いたしまして、予算的な面でもユーロが随分と高騰してきておりますね、そういうことも考えまして、一度こういう体制で実施してみようということでですね、中学校の校長先生のご理解を得てですね、お願いをしてみようと、こういうことに実行委員会となりました。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) その4名になったんですけど、4名はどなたですか、それを教えてください。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 最終的な決定はですね、まだしておりませんが、予定では先生方、校長先生含めて3名と事務局1名の予定であります。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 先生方も一般家庭でホームステイしていると思っていましたら、シェルナッハではホテル、それもシングルルーム、各自一人ずつということで近畿日本ツーリストが予約しております。5月1日に見積を依頼する以前からシェルナッハのホテルは予約されております、その点ちょっと伺いたいと思います。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) シェルナッハと私どものこの付き合いと言いますかね、過去6年間のそういう実績がございましてですね、子どもたちはホームステイをさせていただきませんが、子どもはその近くの何と言うですかね、山小屋のようなところで泊めていただいております。ただ、そのシングルルームというのに値するかどうかわかりませんが、屋根裏部屋のようなところでございしますので、ご理解いただきたいと思います。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) シェルナッハは詳しいことはわかりませんが、フランクフルトは四つ星の素敵なホテルでございます。旅行業者に対して5月9日付けに教育委員会は返答しております。ホームスティの費用に交流会の昼食会とか、交流会の夕食会、これは全部東員町が持っているということを知りました。これって間違いではないですね、本当ですかどうですか伺いたいと思います。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 私どものほうからですね、何と言いますか、お世話になっておるということで、関係しているそのホームスティ先のファミリーを夕食会にお招きしておるところでございます。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 近畿日本ツーリストに5社に依頼した。名鉄観光、三岐鉄道、三岐観光、インテルツアーシステム、あと1社ちょっとわかりませんが、5社ということでしたんですけど、その旅行業者の方が役場の教育委員会に対して手紙を送っていると思います。その中に、ちょっと考えさせられることが書いてあったと思いますけれども、教育委員会から返事がなかったということでしたんですけど、ちょっと読ませさせていただきます。

「海外行程見積を特にヨーロッパでは慎重に期するため、1ヶ月は時間をかけ、訪問内容等を考えてつくるのが常識であると、再三の質問やご意見を申し上げたにもかかわらず、指示どおり見積するように」ということは最初に見積書にあった行程どおりにせよということです。「のことで弊社も安全や快適さを考えると諦めざるを得ず断念いたします」と、それから「指定の手配先から回答があり、シェルナッハ現地交流先とコンタクトがあり、その返答が随分前よりいつもの業者と打ち合わせ済みで、東員町も手配承知のはずで、いまさらほかとはできない」と言われ、現地駐在員の返事があったと、見積する前に形式上、今回そのような見積という形を取ったのではないかと推定してしまいます。結局偽装をやったということに取りかねません。今後このようなことのないようお願いいたします。もうこれについての答弁は結構でございます。

3問目にいきます。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 別にですね、私どもそんな偽装も何にもしているわけでもございませんし、これまでのこの6回のいきさつからですね、東員町とシェルナッハとのこのきずなの中でですね、今年度もこの最終の水曜日から出発して、このときに来てこの学校でこういう交流をするんだということはもう決まっているわけですので、別にそれをですね、来年はまた違う日程で、その次さきはまた違うところという、そういうことではございませんので、間違いのないようにしていただきたいと思ひますし、その業者がすでに手配しておるといふことはないと思ひますよ。私どもはもう毎年この9月の最終水曜日に出発して、シェルナッハへはいつ幾日、何曜日に入つてどういふことをするといふことは、過去6回できちつともう最初のときに決めてきておるわけでございますので、それがそういうような言い方をされると、大変心外です。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 3問目にいく前に、もうやめておこうと思つたんですけど、もうちょっといきます。

1日目、フランクフルトからリュードルスハイムまで行くといふふうになっておりまして、これは旅行者のほうからも指摘があつたと思ひます。以前行った中学生にこの日程を言いましたところ、フランクフルトの飛行場で下りてバスに乗つたらもうぐっすり寝てしまつたといふんですけど、夜の8時ぐらゐまで市内を夕食がてらに行つて、ここはワインの町ですね、居酒屋の多いところだそうなんですけど、行ったことありませんのでわかりませんが、そのような、しかも翌日7時50分のフライトですから、6時過ぎには出なければなりません。中学生にそのような過酷な行程を組むといふこと、なおかつ最終日、シェルナッハを出てミュンヘンの収容所に行きます。そのあと普通ならIC、インターシティの電車でフランクフルトに向かうのが一般的ですが、約600kmぐらゐの行程をバスで行くといふふうに、この予定表はなつておりまして、それ以外の行程をどうですかとお聞きしたら、いやこのバスで行くんだといふ返事しか駄目だつたそうです。

そのような、もうほとんど決まつていふふうにしか取れないといふことで、私はおかしいなと思つて質問したわけでございます、別に中学生を責めるわけでも何でもないんです。

ただ旅行社とあまりにも何か話が、だから役場がつくつた行程表ではなく、もう旅行者がこのようにやつたらどうですかと言われるのを見積に出したような、そのようなふうにとれたもんですから質問したわけでございますので、何かご議論があればご返答お願いします。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 日程はですね、1日短くしたのも私どもがきちっと計画したこと
でございますし、その1日目のリューデンスハイムへ行くということもですね、これも私
どもが考えたことございましてですね、私どもは6回行ってきておりますので、子
どもたちがどういう健康状態で、どこまでどういうふうなことができるかということもす
ね、すべてわかっておるわけでございますので、特にその言われますリューデンスハ
イムですね、居酒屋という、毎年そこで私どもは昼食を食べ、お土産物を子どもたち
に買わせですね、してきておって何ら問題は起っていないわけでございますし、ただ、
帰りのバスについてはですね、これは第2回目にそういう行程で行った経験があるわ
けですけど、これは非常に厳しいことはわかっております。ただ予算の関係でですね、
いわゆるICに乗ることができるのか、バスで移動できるのか、それはこれから十分詰
めていきたいと、こんなふうに思っております。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) やっと3問目にいきます。

5月8日のニュースで、亀山市の女子中学生を身代金目的で誘拐し、監禁した39
才の男と共犯者が逮捕された事件がありました。この犯人と女子中学生との接点は
携帯電話での出会い系サイトだったとのこと。

この事件で、県教育委員会は県内の小中学校などに対し、出会い系サイトを利用
しないことや、有害サイトのフィルタリングの普及促進など、児童生徒の被害防止へ
の取り組みと指導を徹底するよう求める通知を行ったとの記事がありました。そこで
東員町では、各小学校、中学校に対してどのような措置を取ったのかを伺いたい
と思います。また、出会い系サイトや有害サイトを利用している生徒はいたのかも伺
いたいと思います。

小学生、中学生の携帯電話の普及率はどれくらいでしょうか。携帯電話を学校へ
持っていくことについては、どうなっているのかもわかっている範囲でお答えくだ
さい。

この事件の共犯者は、携帯電話の闇の職業安定所という掲示板で雇われたとあり
ました。インターネットのヤフーやグーグルで検索してもまずヒットはしませんが、特
別なサイトからですと、確かに俗に言うやばいサイトが検索できます。これらはほとん
どが携帯電話のようです。

また覚醒剤などの購入や戸籍、通帳の売買、パスポートの偽造など、完全に無法地帯となっております。興味を持つ児童生徒がいても不思議ではありませんが、この種の犯罪の恐ろしさをどのように指導しているのか、伺いたいと思います。

常識を疑いたくなる事件も多くあります。子が母親を殺害し、頭部を切断するとか、単車のヘルメットに入れる場所に赤ちゃんを入れ、死んだので捨てたなど、人の命をどのように考えているのか、全く理解できません。ゲーム感覚でリセットすれば生き返るといふ馬鹿げた考えを持っているからだ、まことしやかに言う学者もいますが、そんな簡単なことではないと思います。

子どもたちはどう言えば大人から逃げることができるのか、非常に良く知っています。5月の最終土曜日のニュースで、零からの風という映画の自主上映の報道がありました。無免許で飲酒運転だったという加害者が起こした交通事故で、不幸にして亡くなった被害者の母を扱った内容なのですが、命の大切さを多くの方々に伝えたいとのメッセージでもあると言っていました。この注目されている映画を東員町で上映されると聞き、待ち遠しく思います。

そこで、東員町の中学校では人の命を大切についての教育はどのように行われているのか、伺いたいと思います。

以上、教育長に伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 南部議員の携帯電話やインターネットによる犯罪防止の取り組みについてのご質問に、お答えをいたします。

出会い系サイトを利用しない通知につきましては、各小中学校に通知し、注意喚起等の実施を促しているところでございます。また携帯電話の学校への持ち込みについては、各学校の判断ではございますが、認めている学校はありません。

出会い系サイトの利用状況につきましては、被害に遭ったという報告はございませんが、実態は掴みきれれておりません。しかしながら、基本的な生活習慣づくりのアンケートにおいて、携帯電話やパソコンを含むメディア試聴の課題が明らかになりました。そこで今年度は小中学生の携帯電話の普及率も含めた実態調査を実施し、児童・生徒・保護者に情報モラルについてのさらなる指導啓発に、啓蒙に努めてまいり所存でございます。

一方、命の大切さについての教育でございますが、常に目の前の子どもの姿を分析しながら、仲間を大切に作る指導が行われております。さらに道德の時間に命の尊さをテーマに、資料や視聴覚教材の活用、講師を招いての学習会等さまざまな方法で取り組んでおります。昨年の一例として助産婦さんを招いた講話と妊婦体験の取り組みで、だれもが同じ命の重さ、尊さを持っているということに気づけたという実

践報告がございます。毎年行われております沖縄修学旅行の取り組みもその一つでございます。日々の教育活動の中で取り組んでおりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 東員のプラムチャンネルではサイバー犯罪の啓発、文字放送がされています。またホームページの文字放送ウェブ版ではサイバー犯罪被害防止の啓発ページが、3ページにわたってあります。これ以外で東員町でそのようなことをやっているのは何かございますでしょうか。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 教育委員会のほうからですね、そういうそのプラムチャンネルのほうへですね、依頼をした事実はないんですが、ほかの課だというふうに思いますが。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) もう一遍元に戻ります。先程も言いましたけどもフィルタリング、それはちょっとパソコンに知識のある人なら簡単に外すことができます。出会い系サイトの甘い罠にかからないようにするには、そこを見ないのが一番なんですけども、このような指導というのは難しいのでしょうか。どうでしょうお聞きしたいと思います。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) なかなかその、いわゆる情報モラルについてのことなんですけど、非常にその実態がですね、どこまで子どもたちの実態が進んでいるのかということがわかっておりませんので、この6月の最終週においてですね、すべてのその保護者、子どもたちを対象にですね、いわゆるインターネット、携帯等についてのですね、調査を予定いたしております。それによってですね、使い方によっては大変危険なんだよということをですね、きちっと啓蒙してまいりたいと、そんなふうに考えております。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 学校裏サイトというのをご存じでしょうか。

学校裏サイトというのは、子どもたちによって立ち上げられた学校内の情報交換を目的としたサイトです。学校行事や定期テストの情報交換など、中高生らしいやり取りもされているのですが、それだけではないんです。3年A組の誰々はきもいとか、誰々は死んで良しといったかなりきつい誹謗中傷やデマ、実名をあげて書き込まれております。あと多いのがわいせつ画像です。小6です、エッチ大好きです。誰か犯してくれませんかとか、自分の体をわいせつ画像を自分の携帯カメラで撮り見て下さいとか、そのような掲載がされております。大人にとっては信じ難いことですが、サイト内では実際に起きております。これが実情です。

5月17日の新聞記事では、松阪市の中学3年生の女子生徒が飲酒した写真や日記を携帯電話のホームページに掲載して、保護者が書類送検されたとありました。もっと楽しい使い方もあるのですが、この松阪ですけども、三重県内です。これはどう思われますでしょうか、お伺いしたいと思います。

議長(三宅耕三君) 石垣征生教育長。

教育長(石垣征生君) 私はですね、あんまりインターネットのその裏サイトとかいうのはですね、見たこともございませんので、ただお話には伺っておるわけですけど、先程も申し上げましたようにですね、本当にその情報の有効な利用方法と言いますかね、子どもたちにとって危険のない、そういう形をですね、子どもたちにも保護者にもですね、きちっと今年度はですね、指導啓蒙、啓発をしていきたいとこんなふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

議長(三宅耕三君) 南部武司議員。

5番(南部武司君) 携帯電話やインターネットが決して悪いものではありません。問題は過った使い方だと思います。おもしろそうだからという、ただ好奇心だけの過ちだと思います。

東員町では幸いにも今度やっていただくということですので、東員町からはそのような犯罪等が出ないように期待しまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。